

講演題目

スマート社会へ向けた業際イノベーション
～停まったクルマも社会インフラに～

講演者プロフィール

株式会社トヨタIT開発センター
代表取締役会長
工学博士 電子情報通信学会 会長
井上 友二 氏



- ・1973年に九州大学大学院(修士)修了後、電電公社電気通信研究所に入社し、情報 通信ネットワークの研究開発に従事
- ・1998年にNTTマルチメディアネットワーク研究所長
- ・2000年にNTTデータ取締役
- ・2002年にNTT取締役・CTOとしてNTTグループ全体の研究開発責任者
- ・2007年から(社)情報通信技術委員会理事長
- ・2010年から株式会社トヨタIT開発センター代表取締役会長。IEEEとIEICEのフェロー。モンゴル科学技術大学名誉教授、早稲田大学と静岡大学客員教授、電子情報通信学会会長
総務大臣表彰など

講演概要

高度に発達した既存の産業界内部でイノベーションを興し、それを次世代の産業に発展させるには、多大の努力とリスク負担が必要である。その努力はもちろん必要だが、成熟した国々での高齢化社会や新興諸国での人口爆発、などという新しい社会問題を解決するには、一業界に留まらない業界横断的なソリューションが有効である。これを業際イノベーションと呼びたい。例えば、自動車業界は、人や物の移動手段であった車を、情報の移動手段にも活用しさらには情報処理の手段にも使えるようにする。農民が畑に乗って行くクルマが、畑に駐車中も農業クラウドの一翼を担えるようにする、というような概念である。こうした幾つかの例を挙げて、スマート社会を実現する為の基盤であるM2MやCyber Physical Systemなどを実現する、新しい社会インフラとしてのクルマの可能性について展望する。